

5. 本年度総合評価（成果と課題）

①成果

学校自己評価の二年目としては、全体として多くの成果を得ることができた。特にアンケートは、保護者、学生の生の声をじかに聞くことができ、積極的な情報収集ができた。この結果をしっかりと把握し、来年度も改善を推し進めていく。

②課題

解決すべき課題としては、アンケートの内容をもう一度点検する必要がある。実態に即して、また、意見を十分吸い上げることができるようにしていく。

③重点努力目標成果

	科名	重点努力目標	成果等
重点 努力 目標	情報ネット セキュリティ科	1. 就職 100%達成 2. 資格取得 3. 社会人としての基本的マナーの育成	1. 33.0% 2. 2年間 10個 3. おおむね達成できた。
	デュアル システム科	1. 就職 100%達成 2. 半導体知識・技術の習得 3. デュアルシステムによる半導体設備エンジニアの育成	1. 100% 2. 座学・実習先連携強化 3. 実習でのOJT強化をはかり最新技術習得
	医療情報 ビジネス科	1. 就職 100%達成 2. 資格取得 3. 社会人としての基本的マナーの育成	1. 87.5% 2. 2年間 15.5個 3. おおむね達成できた。
	公務員初中級 ビジネス科	1. 公務員試験一次合格率 100% 2. 公務員試験二次合格率 100% 3. 社会人としての基本的マナーの育成	1. 95.0% 2. 74.0% 3. おおむね達成できた。

6. 次年度（平成22年度）に向けた課題・改善

①課題

- A. 就職指導、求人開拓等での取り組みに課題があり成果がでていない。
- B. 保護者とのコミュニケーションをしっかりととり、家庭・学校間での連携を密にする必要がある。
- C. 教育課程の中で選択科目に対して効果的に配置ができていない。

②改善方策等

- A. 就職指導は、就職指導担当と担任の連携をしっかりと取り、模擬面接等を充実させる。
- B. 保護者会を実施する。三者面談についても実施する。
- C. 選択科目については、学科の担当と検討し、少しでも増やせるよう努力する。
- D. IBA通信を毎月発行し、学校の活動状況をお知らせする。

以上